

広報



No.325

平成9年

10月号

しらす



実りと収穫の秋

9月の末から10月の中旬にかけて津軽地方は稲刈りの季節。春の低温が心配されていましたが、今年の作況指数は[△]102の良[△]でした。

これから農業はますます厳しさを増していきますが、村内の農家は今年度から長年の念願であったほ場整備事業によって農作業の効率化をめざし、生き残れる農業をめざしていきたいと意欲を見せています。

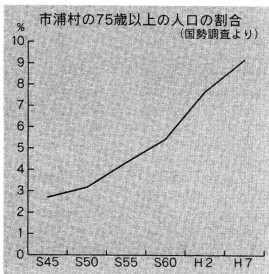
10月30日から

高齢者の交通事故を防止するために 道路交通法が一部改正されます

目的は高齢者の保護

平成七年に行われた国勢調査による当村の総人口は、三千七十三人ですが、七十五歳以上の人口割合では、九・二％となっております。昭和四十五年の二・七％と比較すると三倍以上に増えていることが解ります。個人差はありますが、高齢化による運動能力、視力、判断力の衰えは避けられないもの。それに伴って交通事故の被害者・加害者となる場合もあります。

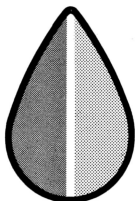
十月三日に相内地区で発生した交通事故の被害者は八十二歳になるお年寄りでした。過去にも市浦村ではお年寄りが被害者になった交通事故事故があり、人口の高齢化に伴って今後とも増える可能性があります。また高齢者のドライバーが増えることにより、加害者となる可能性もあります。これらのような



1 高齢歩行者の保護義務

高齢者の交通事故防止を目的として次の項目が改正されます。

- 車やバイクなどの運転者は、通行に支障のある高齢の歩行者が道路を横断するときに一時停止や徐行をして、その通行を妨げてはならないことになりまし。
- 通行に支障のある



▲高齢運転者マーク

2 高齢ドライバーの保護等

ある高齢の歩行者が道交法を安全に横断できるように、誘導などの必要な措置をとるよう努めなければならないようになりまし。

- 七十五歳以上の運転者が普通自動車を運転するときは、規定の「高齢運転者マーク」を車の前面と後面につけて運転するよう努めなければならないようになりまし。
- 自動車の運転者は、規定の「高齢運転者マーク」を表示している普通自動車に対し、幅寄せをしたり、その車が安全な車間距離を保てない無謀な進路変更をした場合五万円以下の罰金、七千円以下の反則金、逆走、反点一点を受けることになりまし。
- 七十五歳以上のドライバーが運転免許の更新をするときは、運転適性検査などを盛り込んだ指定の講習を受けなければならない。(平成十年十月実施予定)
- 高齢に伴う身体機能の低下などにより、車の運転を継続する意思がない人は、希望により免許の取り消しを申請することができる。(平成十年四月実施予定)

▼お問い合わせ先
 御青森県交通安全協会
 ▼電話番号
 〇一七七一八二一七四八三



また平成十年には、次のような一部改正も実施される予定です。

市浦村長頭 事頭彰状、高松村長より青森県知事頭彰状、市浦村長頭



▲みなさんまだまだ現役です

九月十四日、赤十字奉仕団主催による「平成九年度敬老会」が村コミュニティセンターで行われ、当日は七十歳以上の対象者五百四十六人のうち二百二十一人が出席し、元気な笑顔をみせていました。

敬老会では主催者を代表して小田桐基一市浦村赤十字奉仕団委員長が「戦争を乗り越え、世界に誇れる経済大国まで成長させることができたみなさんの努力に感謝します。歳をとっても常にいろんなことに興味を持ち、毎日楽しく暮らしてください」と挨拶。次に高松村長より青森県知事頭彰状、市浦村長頭

平成九年度
敬老会

いつまでもお元気で

平成9年 市浦村長寿翁付

平成9年
9月1日現在

東			方			西			方		
地区	生年月日	年齢	氏名	位	氏名	年齢	生年月日	地区			
磯松	M.34. 3.28	96	藤田 はつ	横綱	三和 藤次郎	95	M.35. 2.20	相内			
十三	M.35. 5.24	95	安田 源三郎	大関	三和 善次郎	95	M.35. 7.15	相内			
十三	M.36. 8.29	94	安有 馬アサ								
十三	M.37. 2.15	93	奈良 賢吉	関脇	高橋 勇一	93	M.37. 3.25	十三			
相内	M.38. 5.10	92	宮本 ソヨ		高武 田ソヨ	92	M.38. 5.24	太田			
十三	M.38. 9. 5	91	豊島 柏太郎	小结	小伊 寺リサ	91	M.38.10.12	脇元			
脇元	M.38.10.12	91	豊引 本ワウ		小伊 寺リサ	91	M.38.11. 1	磯松			
脇元	M.39. 2. 8	91	葛西 タヨ		豊島 キナ	90	M.39. 9. 5	十三			
相内	M.39. 9.20	90	三和 タマヨ		成田 武よ	90	M.39.11.24	相内			
相内	M.40. 5.25	90	山内 キヨ松		高松 キヤイ	89	M.40.10. 1	十三			
相内	M.40.11.24	89	佐々木 由松		小田桐 ヌイ	89	M.40.11.27	脇元			
太田	M.40.11.30	89	佐藤 マサ								

— 姫神・星吉昭プロデュース —

許可胡弓独奏会

驚異のテクニックと類希な歌心で中国悠久の音色が世界を謳う。史上最高の胡弓(二胡)奏者による待望のコンサートです。

日時：11月9日 日曜日午後2時開演(午後1時30分開場)

場所：市浦村役場 青森あすなろホール「市浦」

- ・入場料は無料ですが整理券が必要です。
- ・整理券は、市浦村役場でお求めください。
- ・入場者は限定120名とさせていただきます。
- ・詳しいことは、市浦村役場企画財政課(電話62-2111)へお問い合わせください。

青森県知事頭彰状

(90歳以上の長寿者)

- 三和 タマさん(相内地区)
- 成田 武よさん(相内地区)
- 山内 キヨさん(相内地区)

(88歳以上の長寿者夫婦)

- 三和 藤次郎さん(相内地区)
- タマさん

市浦村長頭彰状

(90歳以上の長寿者)

- 山内 キヨさん(相内地区)

NEWS フラッシュ

おしくも決勝進出ならず

第二十回東日本軟式野球大会青森県予選会

九月の二十七日、二十八日の二日間、市浦村山田広場球場を主会場に、第二十回東日本軟式野球大会青森県予選会が行われ、県内各地から十チームが参加しました。

大会は市浦村体育協会の笹山精義会長の始球式で試合開始

初戦を突破するとチームは勢いに乗り、二回戦は完封勝利を果たしましたが、準決勝は打線が繋がらず両チーム0点のまま延長十二回が経過。延長十二回は無死満塁から始まる特別ルールが適用され、チャンスを活かせる



▲大沢投手の力投

見せていました。市浦村体育協会の戦績は次のようになっていきます。

- 一回戦 3-1-2 対東芝メディア機器 (五所川原)
- 二回戦 4-1-0 対富岡アイズ(むつ)
- 準決勝 0-1-5 対タークホース(弘前)

ず惜しくも決勝進出は果たせませんでした。が「今後は打撃面を強化して、来シーズンこそは全国大会へ出場したい」と意欲を

相内虫送り弘前へ出陣!

相内青年団

去る九月二日、弘前市大花酒

造敷地内で行われたイベントに相内青年団(秋田谷兼仁団長)が招待され、市浦村の伝統芸能である相内虫送りが披露されました。相内虫送りは、若馬を先頭に会場内を「ハネロジャ、ハネロ」とかけ声をかけながら披露されるとか、その虫送りは大好評で、会場の盛り上がりは最高潮、三百名を超える観客から拍手喝采を浴びていました。



▶弘前でも大好評でした

親子で地引き網体験

十三子ども会

九月二十一日、十三地区日本海沿岸にて十三子ども会(近藤昌浩会長)による地引き網体験学習が行われました。

これまで十三子ども会の親子



友好町村だより⑬

かみのくに情報ランド

老人と子どもたちの果実の森植樹

老人と子どもたちが力を合わせて

心地よい汗を流しました。

夷王山緑の広場で、町主催の老人と子どもたちの果実の森植樹が町内老人クラブや上ノ国・河北保育所の園児をそのお母さんたち約百二十人が参加し行われました。

この植樹は、平成九年度宝くじ協会コミュニティ助成事業の一環として行われており、老人たちと植樹交流をとおし、お年寄りを敬う心、そして自然環境に関心をもち自然を育てる心を養うことを目的としています。

この日は栗や桑、グズベリーなどの苗木二百本を老人と子どもたちが力を合わせていねいに植え、



は十三地区で盛んでしたが現在ほとんど行われなくなっていた地引き網漁に注目して取り入れることになりました。なお、今回使用した地引き網の提供及び指導も小倉さんによるもので

当日は小学生と父母合わせて

約百人が参加、参加者全員が力を合わせて海から網を引き揚げる。網の中にはヒラメ、カレイ、シマダイ、タコ、ウグイ、イワシなど盛りだくさんで、この大漁に子どもたちは大喜び。さっそくお母さんたちによってフライ、塩焼き、鍋などに料理して新鮮な海の幸を楽しんでいます。

十三子ども会では今後も進学や就職などであるさとを離れることになっても地元への思い出を忘れないで欲しいと願って、自然を活用したレクリエーション

美

しい自然を満喫

親子登山の集い

「親子登山の集い」が九月二十三日、木無岳（標高五八七・三メートル）で行われ、参加者は心地よい汗を流しました。

「親子登山の集い」は自然観察を通して森林や林業の役割を学んでもらおうと市浦宮林署と教育委員会が主催しているものです。

当日は幼児からお年寄りまで約九十人が参加。山頂までの道のりを、お互いに励ましあいながら約一時間ほど登りました。山頂に到着すると眼下には十三湖や若木山などを始めとした風景が広がり、参加者はあまり



を続けていく予定です。

大漁に子どもたちは大喜び

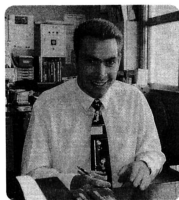


▲山頂で記念撮影

の美しさに疲れを忘れて市浦村の誇る自然を満喫していました。

●●よろしくお願ひします●●

七月より市浦村の新しい英語指導助手として着任したネーサン・ギルダート先生。日本の生活にも慣れ、英語の授業も始まっています。そこでネーサン先生にこれまでの感想を聞いてみました。



NATHAN GILDART
(ネーサン ギルダート)

出身：カナダ ハリファクス市
年齢：24歳
趣味：サッカー、スキー、バレーボール、ギター、スケッチ
学生時代の専攻は歴史で、カナダでは高校の社会科教師として働いていました。

- ◇日本で英語教師をすることになったきっかけは何ですか。
- ◆日本の文化を勉強して興味を持ったため。また兄も日本で英語教師をしているのもきっかけとなりました。
- ◇日本の学生の印象はどうか。

- ◆日本の学生は挨拶を大事にしており、とても礼儀正しく感じました。またカナダでは生徒が先生を名前で呼ぶのに対し、日本では**先生と敬称を付けて呼ぶので新鮮でした。
- ◇日本の習慣や風習で驚いたことはありますか。
- ◆学校の中を歩いていたところ、とある先生が後ろから近寄ってきて、いきなり抱きつかれる挨拶には驚きました。
- ◇英語の授業を担当してどうですか。また今後はどのような授業を目指していますか。
- ◆教科書に載っている英語の表現はやや固い印象を受けます。そのため難しいとは思いますが、自然な英語を目指して指導したいと思っています。また英語だけではなく、カナダのことも授業を通じて知ってもらいたいと思っています。
- ◇市浦村の印象はどうか。
- ◆市浦の人は親切で、特に年輩の方は自分の両親のように親切してくれるのがうれしい。
- ◇今後の抱負は
- ◆もっと日本語を覚え、サッカーなどを通じて多くの人と知り合いになりたい。また日本各地を旅行して日本のことを勉強したい。そして学んだ日本の文化をカナダの人に伝えたいと思っています。
- ◇最後にみなさんへ一言
- ◆今後いろんな機会で見なさんと一緒にいることがあるかと思いますが、そのときはよろしくお願ひします。

— 地方新時代の行政サービスとは —

欧州の行政に学ぶもの②

村長 高松 隆三

中世の商業都市

ベルゲンへ

コペンハーゲン(デンマーク)では冷たい雨の中、欧州最大の花の市場や、一般廃棄物と産業廃棄物を同時に処理するゴミの処理状況など視察したあと、休む間もなく夕方五時に「クイーン」という名の客船(三万八千トン)でノルウェーの首都オスロへと向かった。

オスロまでは十六時間の船旅だったが、連日の疲れが出たのか、船内では夕食もそこそこに夜の九時か翌朝七時まで熟睡してしまっただけであった。体調もすこぶる快調である。

オスロの福祉施設は後日にもわし、ベルゲンに向かうため下船後直ちにオスロ空港に直行し、昼食は空港の待合室で食べるというあつたさださだったが、オスロの「将軍」というレストランから調達した和食の弁当だっ

たのでご飯が大変なつましかなかった。

ベルゲンというマチは、あの冬季オリンピックで日本選手が大活躍したりレハンメル付近であり、中世の面影を残す人口二十一万人のノルウェー第二の都市であるが、丁度十三湊が日本海を代表する港湾都市として北東アジアとの交易で栄えていた時代と同じ頃、このベルゲンもドイツの沿岸都市と通商条約を結び、ハンザ同盟都市に加入して北欧第一の商業都市として栄えていたわけであり、私にはこの西のベルゲンと東の十三湊という中世の大都市が、オーバーラップして感じられ、感無量のものがあつた。

年間三百日も

雨が降るベルゲン

ベルゲンは真夏でも平均気温が十三度から十五度(最高二十四度、最低八度)ぐらいであるが、大西洋に臨み、メキシコ暖

流が流れている関係から冬は比較的暖かく、アンカレジと同じ緯度(北緯六十度)にありながら雪が少なく、逆に一年間に三百日も雨が降るという雨の多いところもある。また日本人の観光客も年間五万人も訪れると言われており、その日の日本経済新聞がホテルで販売しているところからもそれを裏付けているようだ。この新聞で神戸の中学生が殺人容疑で逮捕されたことを知り半信半疑だった。

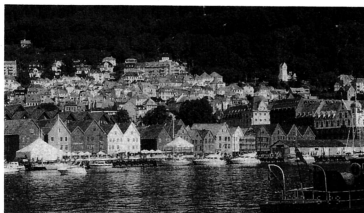
私どもが泊まったラディソン・SASホテルは、前々日まで北欧五カ国の首相との会議のため日本の橋本首相が泊まっていたところであるが、北欧の首相は四、五人の随行者しかつかないのに、日本の総理には百人近い同行者がついていていることに、現地の人々々は驚いていたようだ。世界文化遺産に登録されているハンザ商人の住居区の一部にある本造の海積ストランは、相当老朽化が進み、傾いており、衛生環境も悪く日本では営業停止はもちろん、建物そのものが解体か復元していると思われるのに、そのまま使用しているところには歴史を重んじる欧州人の悠長さと気風をうかがうことができた。

現地の味を求めてあえてこの

レストランで夕食をとったが、ポリユームと多きには驚いた次第である。ホテルまで歩いて二、三分と近いところにあるが、夜の十一時になっても日が沈まないし、暗くもならないし、これが白夜といふものだとも身をもって経験した次第である。

また中世のハンザ商人の生活がわかる住居兼倉庫を再現したハンザ博物館や、作曲家グリーグが晩年暮らしていたエドワルド・グリーク・ミュージアムやソプラノ歌手であった愛妻二ナールのために作曲していたといわれるその住居にはピアノやファアが当時のまま残っていた。

ベルゲンの魚市場は港の広場で開かれる活気あふれる市で、レーケ(小魚び)のゆでたものや、カニの甲羅に身をつめて売っていたクラベンなどが特に多かった。また全長二〇五キロメートル、深さ一・三〇八キロメートルの世界一を誇る、ソグネ、フイヨルドの基地でもある。



▲三角屋根が連なるハンザ商人の住居区

福祉の先進国にも
かけりが

ノルウェーは人の数ほど山があり、林業と水産業が盛んで、そのうえ海運業や鉱業や北海油田を持った工業の国でもあり、これまでは豊かな国であった。また、バイキング船博物館や、北欧のロタンと呼ばれる彫刻家ビーゲランが人間の一生を描いたという、フログネル野外彫刻公園などはあまりにも有名であ

る。
そして私共は福祉の先進国であるノルウェーの首都、オスロを訪ねた。

人口四十五万人のオスロ市の地域をカバーするための老人福祉サービスセンターは、オスロ市を五区分けし各区にセンターを設置して居り、私共が訪れた「オーレルセン・高齢者ホーム」は、一フロア二十名で五階建て百名の方が入所可能であり、一階はデイサービスセンターで現在は三十六名の方が利用し、二階から五階までは個室となつて居り、この中には痴呆ほう症の方も、身体障害者の方も入所している。

この施設には給食施設はなく、近くの老人病院の給食センターから食事が運ばれてくる仕組みになって居り、百名弱の入所者に対し五十名の職員が従事している。ホームヘルパーも別に活動している。デイケアセンター(市浦の悠遊館のようなもの)の食事は朝食に間にあつて迎えて行くので、早めの夕食まで準備するようにして居り、このセンターの利用料はバス代も含めて七百四十五クローネ(日本円で七千円)負担している。この施設で日本と根本的に違うところは、日本では六十五歳

以上の人なら誰でも通うことができるが、オスロでは一人暮らしか老人夫婦だけで暮らしている人で、自立の意欲のある人を助けるための施設であり、あくまで社会復帰のきっかけをつつてやるというのが主目的となつて居り、自分の家で自分の好きなことのできる人はこの施設を利用することはない。その反面、六十歳以下でも交通事故などで車椅子で生活している人は入所できず、この施設のエルセルセ・オーケレント次長さんが云つて居られた。

しかし、国の財政が苦くなつたので、訪問看護などのサービスについては国の補助が打ち切られ金額自分で負担することになったほか、経費を削減するために五つの区に設置されている福祉施設の管理部門を一つ所で集中管理したり、施設に入っている年金受給者の年金の利率も八十%も税金をかけているほか、各部屋のバルコニーの前まで案内してこのようにみんな壊れているが修理する金が困るも、市からも出ないのそのままして居るとのこと。

ノルウェーの年金は六十七歳から支給されているが、この年齢を下げることは困難だと思うし、現に支給されている年金で

さえずつと据置かれているのが現状なんです、もうすぐ総選挙があるけれども、選挙公約に「一人一部屋にするとか、老人福祉に一つと金をかける」と云つているが、国の財政、国々の税負担を考えると、担税力も限られて来てるので、増税が無理ならば福祉の水準を下げなければならぬ時があるかも知れない、ノルウェーが世界に誇れるこの福祉のレベルが下がることにならないと、オーケレント次長さんが目を曇らせていたが、これが福祉の先進国ノルウェーの実態だとはいままで晴天のヘキレキだった。

福祉の先進国だからボランティア活動も活発だろうと思つているが、国民は高い税金を納めているので福祉に国がやるべきものがないという感情があり、福祉に対するボランティア活動は鈍いとも云つていた。

日本のマスコミも、学者といわれる方も、様に北欧の福祉に学べと北欧を礼讃して来たが、この北欧の福祉はいま経済的な面から破綻を来まして居り、新たな老人の貧困をもちたす恐れがありその対応療法もたす家庭ケアという発想をみ出した

が、わが国でも、いまこの北欧の歩んで来た道をそのまま歩もうとして居り、在宅福祉の充実のためとして介護保険の充実とさせようとしているが、介護保険の先進国ドイツでもこの制度がうまく機能していないという、保険として介護なしという事態にならない方がいいが懸念している次第である。

しかし、こうした老人問題は北欧と云わず、日本と云わず世界的な時代の命運のような気さえするが、小手先でなく、生産構造や社会構造を根本的に変えない限りこの問題は解決されないのではないかと思う。

現代工業社会は人口の移動と都市集中を加速させ、過疎・過密を生み、その課程の中で老人問題やオウムやじめや神戸の中学生による殺人事件など、さまざまな問題を生んだ。しかしハイテクや情報化の時代を迎えた今日、一ヶ所に人が集まる必要はないし、毎日職場に通う必要もなくなり自宅にいながらして仕事ができる時代になっていくと思う。テレビ会議もあり、老人介護のロボットも開発されつつある、ハイテク化は都市集中から地方分散を可能にするかもしれない。そして若者が生まれ故郷に帰る時代になるか

もしれない。これまでの工業化社会と質の違う社会構造に変わるかもしれない。是非そうあって欲しい。そうしたマンガ的な考え方もいい限り老人問題家族問題の真の解決がないとすればそれは悲しいことである。理想とは違つてしまったノルウェーの福祉の実態をみて、これか加圧的に増えるわが村の老人人口にどのように対応すべきか、この日は気持が暗くなつてしまった。いまや北欧は福祉の天国ではなくなつた。

(次回)はドイツのクリンツリズムを報告します。



ノルウェーの高齢者ホームの前でオーケレント次長を囲んで

体験航海記

青森県女性の船に参加して

青森県では、洋上研修を通じて自己啓発や相互理解及び地域交流を図り、積極的に地域社会に貢献できる女性の育成を目的とした「青森県女性の船」を開催しています。
今年で四回目になるこの体験航海は九月十二日から九月十四日まで実施され、市浦村からは白川横子さん(相内)と桑野尚子さん(脇元)が参加しました。

青森県女性の船に参加して

白川 横子

九月十二日午後四時、五色のテープと共に、出会い、ふれあい、語り合いの旅へとふじ丸は出航しました。行き先は東京晴海埠頭、その間の二泊三日を団員二百二十五名は洋上研修するのです。波はおだやか、船内はホテルのようです。早速歓迎パーティでディナーです。シャンデリアがいっつも輝き、華やかな服装の女性達は仕事や家事から解放されて、夫も子どもも舅姑も全て忘れ、生き生きと美しくナイフとフォークで食事を楽しみました。翌日からは学習です。弘前学院短期大学助教佐藤恵子さんの講演は「青森県の女性とエンパワーメント」、つまり女性

性よ力をつけようと言うことでした。三日目に知事の講話もあつたのですが、お二人に共通のテーマは「男女協同参画社会を目指す」というものです。木村知事は就任早々女性政策課を設け、女性の自己啓発、地位向上、政策への登用を積極的に推進、五所川原市も女性はつらつ課があります。男と女は対等の立場で良きパートナーとして協力し合いたい、家庭においては勿論、社会にあつても参加して行きたい、と、叱咤激励されました。洋上フェスティバルは六プロックに分け、特色あるアトラクシヨンが催されました。西北五十三名は虫祭りを中心とした劇かなりハイレベルです。女性のエネルギーが爆発しました。このパワーがあれば県の未来は大丈夫と感じました。洋上トーク

分散会では、テーマを決めて各分野に分かれ、各地域の人達と意見交換をしました。私は「地域づくりに女性の視点」に参加し、各自の街の活動状況、課題等をいろいろ出し合って話し合いました。自分の住んでいる所を少しでも良くしよう、子供達(他人の子も含めて)の為に私達に出ることは何か、その他いっばいあります。目を向けると私達の周りにはいくらでも問題はあります。実際うまくいっている所もありました。女性達は真剣に考えていました。時間が経たなくても、今すぐ解決は出来なくても、良い方向へと努力は続けて行こうと結論しました。最後に発表がありました。皆さん堂々として立派でした。私の研修講師は、「青森県の女性はしっかりしている、将来は明るい」と得心がきました。市浦の女性の皆さんも二年に一度のこの船には是非参加してみませんか。新しい風に触れることが出来ます。御礼申し上げます。方々に心からお礼申し上げます。

県女性の船に乗って

桑野 尚子

秋晴れの中、花火、五色のテープに見送られ出航。気持ちの良いスタートである。初日はま

ずウエルカムパーティー、団員同士写真撮影をしたり、自己紹介をして積極的に動き回り輪を広げていく。二日目は佐藤恵子先生による「青森県の女性とエンパワーメント」についての講演。エンパワーメントとは力をつける事、女性が社会的実力を養成する事と説明。女性が社会参画するには、弱者の視点に立つ、家庭生活を充実して社会参画できるようにする、男性にやつてもらわずに直接加わって女性の立場を変えていく、男性の考え方だけでは行き詰まりがある、男性なりに働かなければいけない等女性参画のあり方を話してくれた。洋上トーク分科会では六つのテーマに分れ、話し合いがもたれた。私達のグループでは「家庭におけるパートナーシップについて」討論された。それぞれ自分の環境や状況、話を話し合い、女性が自立し生涯パートナーとして暮らしていくためには男性に従うのではなく立場をわかりあい、つながらなくつ、相手を理解すると信頼が生まれるのではないかと、男性の自立(身のまわりの事ができるよ)に「するが不可欠ではなにか等真剣に話し合いました。分科会終了後洋上フェスティバルでは船の揺れを感じ船酔いをする人が続々と出たが、このクル



▲船上で記念撮影をする白川さん(前列左)と桑野さん(前列左から二番目)

ープも地域性や祭りを組み合わせたアトラクションを披露、皆みことな演技が繰り広げられ船酔いを忘れさせてくれた。私達西北五チームは「津軽の虫おくり」を披露、舞台が狭く練習の時のように動けなかったが一つの物へ知らない人同士が目的を持って向かう積極的な皆満足であった。最終日は団長(桑野知事)による講話があり、福祉日本一は女性の力を必要とする、文化を作る元は女性である等、また自分の生い立ちのお話があり目頭を押さえる光景も見られました。この三日間洋上研修で真剣に討論したり、講話を聞いたり、地域や年齢を超えた交流の輪が広がりました。この研修に参加させていただいて学んだ事をこれからいろいろな立場で生

かしている、私達女性も意識的に仕掛け人になり地域のパワーアップにつなげていければと思

青森県青年の船に参加して

県下の青年が洋上における研修と規律ある団体生活を通じて自己啓発及び青年相互の連帯感を高め、外国の歴史・文化・経済等の視察によって青森県の次世代を担う青年の育成を目的とした「青森県青年の船」。今年で第七回になるこの体験航海記は九月一日から九月十二日まで実施され、市浦村からは三和卓さん・相内規江さん(十三)が参加しました。

初めての海外体験記

三和卓

九月一日、朝から雨が降っていた。朝から憂鬱な気分になっていたが、出航式のときには、我々の門出を祝福するかのように晴天になった。県内各市町村から集った若人三百五十一名を乗せて「ふじ丸」は多くの人々に見送られ青森港を出港した。

仕事から解放された私は、この二週間を思いっきり楽しむことがそうと考えた。

船内では、講話・講演・船内大運動会・地域別に催し物を行うフェスティバルといったスケジュールを忙しかたした。

県内から集った人達とは、すぐに打ち解け仲間意識が芽生え毎夜缶ビールを片手に深夜までワイワイ騒ぎながら過ごした。

私にとって初めての海外旅行

います。この研修に参加するにあたってまわりの人達の御協力から感謝致しております。

見ると地球上で唯一確認できる建物といわれる万里の長城といった史跡を堪能した。中国ではタクシーにも乗った。タクシーの中は汚く、乗ると思っても後ろのドアが開かなかった。また、デンジャラスなものであった。中国のホテルもすぐこまった。シャワーを浴びている時、後ろで何かが落ちる音がした。何が落ちてきたんだろと後ろを見たら、天上の塵紙みたいなものが落ちていた。土を見るのと、あちこち刺がれており、ベニヤが露出している。しかし、中国の広大な土地、どこを見ても果てしない平野、ラッシュ時の自転車、レングラを積み上げて建設中の高層アパート、全く圧巻としか言えない貴重な体験をした。この「青年の船」に参加させてもらって本当に感謝している。また、この経験を今後の仕事や地域活動に役立てるように、積極的に行動したい。

中国では、念願だった天安門広場、紫禁城、衛星から地球を



▶三和卓さん(左)万里の長城にて

十二日間の海外旅行

中井規江

六月のある日、青年の船に参加してみたいか? という一声がきっかけでした。

九月一日、私達青年は不安と期待を胸に出発しました。船では事前研修で知り合いに

なった人達と共に行動をし、生活しました。毎日講義や会議などでスケジュールがいっぱいでしたが、なぜか夜になるとクラスの仲間たちと集まり、ワイワイはしゃいでいるのでした。

中国、韓国では現地青年たちとの交友青年交流会が行われ、意見交換をしました。主に学生さん連が多く、日本語がとても上手で、その中の一人はガイドになるのが夢で今、そのための勉強中とのでした。

ホテルではよく現地の人と間違えられ、話しかけられました。ホテルのフロントの前を友達と歩いていた時アンニョン、ハシムニコカ、おはようございます。と言われ私も同じ言葉を返しました。又、現地の青年たちと話をしていた、フツとその場を離れ、同じ場所へ戻るとわか

らない言葉で話しかけてくるのです。「何て言ってるの?」という顔をして、「あつごめんさない。間違えた」と言葉が返ってくるのでした。私って中国、韓国系の顔なのかしら? と思ったくらいです。

日程も半ばを過ぎ、念願の万里の長城へ向かいました。教科書での写真で知っていたよりもやかコースと急なコースの二つがありましたがゆるやかコース

を選びました。とにかく階段が多く坂が急なので登りはとにかく休む暇がない。ひたすら登るのですが、人をかき分け、ゆっくり歩かないと危ない。斜めだったりと、高かったりと段差が激しく、転がった方が早いかもしれませんが、日頃の運動不足を身に染みながらスタート地点へと向かうのでした。

今回、十二日間という長いようでも短かった「青森県青年の船」では、いろんな人に会い、思い出をたくさんつくる事ができました。異国の地へ行き、様々な体験もしてきましたが、しみじみ日本人で良かった! と思います。

この体験を自分に生かして、地域のために頑張りたいと思います。



▲中井さん(前列左から二番目)、天安門広場にて



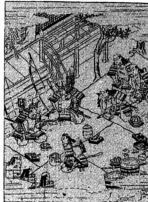
後三年の戦い 手違儀の戦い (II)

義光、義家と対面

時秋を京都に帰した義光が、奥州の国府多賀城に到着したのは三月十九日でした。

国府では、今日か明日にも出羽の家衛・武衛を攻撃しようとする軍立てに必死となつて準備中でしたが、弟左兵衛尉義光の到着を聞いた義家は嬉しさに先立つてたいへん驚き早速に対面したのでした。(前号の挿圖参照)。

「朝廷の護衛の役職にある貴殿が馳せ参じたのはどうしたことか?と、義光は居寄り「久しくお逢いしていな



羽田の宮で清家軍の残した飯酒を士卒に与える義光、義忠両将(前太平記所収)

いけれどともお逢者で何よりでございます。違か取いて合戦の模様を聞き、朝廷にも院にも再三にわたつてお暇をお願いいたしましたけれど許可がなく、止むに止まれず官を辞して屍をともにしたい思いで馳せ参じた次第です」と、心情を吐露します。将軍義家は涙を流して喜び、「公の後難も恐れないでこの義家を救おうとの下向、言葉に尽くせないほど有難く、貴殿の今日の downward はびきり義入道殿の再来だと心強く思います。これからは副将軍となつて下されば武衛・家衛の首を擧げると同時に、手に手を取つて担がれ預手の大將軍としたということですよ。」

武衛・家衛、国府を攻撃する

こうしている間に、武衛・家衛が数万騎の軍勢を率いて出羽の金沢の柵を出発して国府を攻撃すると訴える者がありました。

これを聞いた義家は、「金沢の柵は思惟の要害である上に、たぐさんの兵糧を貯えていて籠城すると絶対有利な

のに、城を出てわが国府を攻撃することは天は我に味方したのである」と、味方に糧を飛ばします。

そして、早速防備を固めます。すなわち、国府には一兵も入れはならぬと、義光は七十余騎で城から一里離れた奥道を守り、次郎義親は五千余騎で追手の城戸を三十余町出た上道に陣を敷き、三郎に義国三千七百騎で中道を塞ぎ、四郎義忠は諸代の家人および武蔵相模の武士から一千五百騎を選んで国府から三里西の松野の敷原に敵の後ろを遮ぎらうと矢じりを揃えて待ち構えていました。

一方清家では、羽田の宮で三手に分かれ、一手は武衛が万騎で奥道から押し寄せ、一手は家衛一万七千余騎で上道から攻め入り、一手は藤原千任・野伏悪党一万五千余騎で中道から寄せかかるという手筈でした。

頃は寛治四年(一一九〇)四月十八日の午の刻(午前十一時~午後一時)でした。両軍それぞれ同時に衝突して追いつ追われつおめき叫んで攻め戦っています。「前太平記」はその模様を仏教語を使用して次の名句を残しています。「陣に作る陣の声を須弥の四柱に響渡りて欲界六天の魔王等も三熱の夢を破り龍宮城に衝して八大龍王の眼を醒ますんと響し共云計なし」と、その物凄さを表現しています。互いに負傷者や死人を出してこそ先途と戦

いましたが、その日の勝敗が決まらずに日暮れになってしまいました。

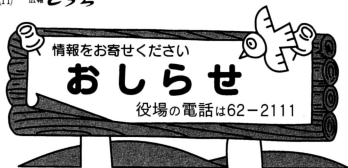
清家の軍勢敗北する

その夜は両軍篝火をたいて互いに夜討に警戒します。国府では諸大將はそのままながら諸平を新手中に入れ替えをします。

夜明け

夜明けとともに戦いが再び開始されます。最初に意気込んだ家衛が国府に攻め入ったことで、源家の義親の軍との合戦となります。この時です。かねて松野の敷原に潜んでいた四郎義忠が深入りした家衛の背後から白旗五十余流れを風に靡かせて、どつと陣の声高らかに攻めたためたのだから、ようやう活路を求めた命ながら羽田の宮へ逃げ延びます。弟に手柄をとられた義親は、千任の陣の横合いを襲います。

千任の軍勢も怒りたっている義親軍にはびきたりもなく崩れて逃げ行くのでした。武衛の軍もこれらの情勢に諸軍浮き足たっていました。かくと戦つたのが義光で、兄が、いく時もなく敗れてきた羽田の宮へ落ち延びます。翌日の甲の刻(午前三時~五時)でした。清家の軍勢はこの所に集合して、ここまでは追手が来ないだろうと飯酒で士卒に慰勞していました。だが、暗に相違して義光、義忠の軍勢が攻撃をかけたので、清家軍は金沢柵へと散々に逃げ帰ります。

**農家の皆さんへ**

平成10年に使用する農業用免税証の交付申請は次のようになっていきます。

▶ 場 所

五所川原市合同庁舎1階相談室

▶ 日 時

11月4日(水)
午前9時から午後3時まで

なお、申し込み用紙は県税事務所、農業協同組合及び軽油販売店に備え付けてあります。

▶ お問い合わせ先

五所川原県税事務所関税課

▶ 電話番号

34-2111
内線207-208

年末調整の説明会が行われます

平成9年分年末調整説明会の開催日程をお知らせします。

▶ 開催日

11月20日(木)

▶ 開始時刻

10:00から
(受け付け9:30から)

▶ 会 場

金木町中央公民館

▶ お問い合わせ先

五所川原税務署法人課税部門
源泉所得税担当

▶ 電話番号

34-3136

県内の交通事故概況

		9月		累計	死者のうち	青森県交通対策協議会	
発生	死者	発生	死者	発生		死者	死者
688 (670)	6 (16)	688 (670)	6 (16)	5,955 (6,020)	84 (103)	31 (33)	高齢者の死者
838 (841)	7 (7)	838 (841)	7 (7)	7,247 (7,326)	247 (247)	13 (30)	飲酒運転による死者
						46 (58)	着用義務者 (着けなければならない人)
						32 (43)	非着用者 (着けていなかった人)
						14 (18)	着けていれば 助かったと思われる人

()内は前年。累計は1月から。

市浦村の人口と世帯数 平成9.10.1現在

大字名	前月人口	人 口	世 帯 数
相 内	1,292	1,296	411
桂 川	67	67	22
太 田	286	283	88
脇 元	540	539	197
磯 松	304	303	108
十 三	796	796	251
計	3,285	3,284	1,077

**子育てメイトを
ご存じですか**

知事が委嘱する子育てメイトは、主に未就学児をもつ家庭を訪問して、子育ての悩みや不安について相談を受けたり、情報を提供していただく子育ての経験が豊かな方々です。どうぞお気軽にご相談ください。

◎市浦村子育てメイト

地区	氏 名	電話番号
相内	成田 吟子	62-3175
太田	武田 れれ子	62-3032
磯松	村元 秀子	62-2094
脇元	楠引 笑子	62-2025
十三	小山内千津子	62-2360

出稼ぎと国民年金

国民年金の加入者は、農業・漁業・自営業・学生などの第1号被保険者、サラリーマンや公務員など厚生年金保険や共済組合に加入している第2号被保険者、そして第2号被保険者に扶養されている配偶者の第3号被保険者の3種類に区分されています。

農業や漁業をしている方が夫婦で出稼ぎに行き、そこで厚生年金保険に加入すると、2人とも第1号被保険者から第2号被保険者へと種別が変わることになります。また、夫が出稼ぎに行き厚生年金

保険に加入して、妻が夫の健康保険の被扶養者に認定されると、夫は第2号被保険者、妻は第3号被保険者となります。

どちらの場合も、夫婦ともに国民年金の種別が変わりますから、市町村役場に届出が必要です。

出稼ぎ先を退職したときには、夫婦とも元の第1号被保険者になりますので、その際にも忘れずに届出をすることが必要です。

将来のための大切な年金を確保するために、届出を忘れないようにしましょう。

▶お問い合わせ先
役場住民福祉課

**労働保険の加入手続きは
お済みですか**

労働保険は、労働者が失業した場合に生活の安定を図るための失業給付を行う雇用保険と、労働災害により負傷をした場合の補償を行う労災保険からなっています。

労働保険は、農林水産業の一部を除き、労働者1人でも雇用していれば、その事業主は加入手続きをしなければなりません。

「働くあなたと

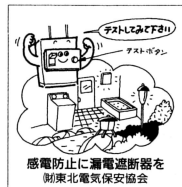
家族を守る労働保険」

▶お問い合わせ先

五所川原公共職業安定所

▶電話番号

34-3171



健康への道

No.111

救急箱

どこの家庭にもある救急箱。ところが、いざ開けてみると必要なものが入っていないなかったということがよくあります。定期的に点検し、薬の有効期限なども確認しておくことが大切です。最低限そろえておきたいものを次に挙げてみます。

体温計、はさみ、ピンセット、毛抜き、ガーゼ、包帯、脱脂綿、綿棒、ばんそうこう、救急ばんそうこう、消毒液、鎮痛剤、解熱剤、軟膏など。このほか、家族の健康状態に応じて胃腸薬、風邪薬、かゆみ止めなど使用頻度の高いものを用意しておくとうよいでしょう。

食塩、重曹、酢、牛乳、ブランドンなど救急用品として代用できるので、きらさないようにしたいものです。

体力づくりなどを目的にスポーツを楽しむ方はいっぱいですが、あまりにもはりきりすぎて、ケガを繰り返していたら、せっかくの楽しいスポーツも白無しになってしまいます。

そこで今回は、「ケガ」をしないようにするのはもちろんです

- ①まず、冷湿布をして痛みや発熱を抑える。冷やす期間は痛みがとれるまでとし、通常の打撲なら二〜三日位。
- ②なるべく打撲した部位は動かさないようにする。
- ③入浴は、痛みや腫れがおさまるまで控える。
- ④痛みがおさまったら、血液循環を促すために温湿布に切り替える。

お頭に打ったら？
おどきにタンコブ
ができたような場合は、ほとんどは心配ないといえます。また、頭を打った時に、皮膚に傷がついて出血することがあります。頭皮は、血管が集まっている部分なので出血量が多くなりますが、傷口にガーゼを当てて圧

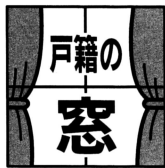
迫すれば止まります。しかし、頭の後ろや横の部分に打つと、意識障害や吐き気などの症状がある場合は、危険性が高いので、すぐに専門医の診察を受けましょう。

「打撲」から身を守る

☆打撲をした時の手当のポイント

☆胸部を打ったら？
安静にして冷湿布をしましょう。呼吸をする時に胸が痛むようであれば、肋骨が折れている可能性があります。肋骨は折れやすい反面、包帯などで固定しておけば自然にくつくつので、一本折れた程度ならそれ程心配はないのですが、専門医の診察を受けることをおすすめします。

☆腹部を打ったら？
吐き気したり、腹部に緊張が感じられる場合は注意が必要です。内臓に損傷がある場合は筋肉が硬くなる、押すとキュッと音がしますが、十二指腸や胃や腸が破れた時は、すぐに痛みが出ますが、すぐには症状が出ないため、最低五〜六時間、できれば一日位安静にして様子を見ましょう。この間は飲食を避けることが必要です。



▼お誕生

鳴海純子(相内) 都博
柏谷佳子(相内) 清彦
山田空(梧) 克史
小田桐泰(脇元) 泰志
山田丈太郎(相内) 金志

▼ご結婚

木村学(相内)
成田美智子(相内)
松島正明(相内)
三浦理恵(相内)
伊南巨樹(磯松)
島南信(深松)
佐藤弘和(西目屋)
尾井章晴(十三)
坂中(十三)
三和定松(相内) 82歳

第18回 あすを拓くふるさとまつり

11月1日から3日までの3日間、コミュニティセンターで「第18回あすを拓くふるさとまつり」が開催されます。今年の主な催し物は以下のようになっています。

11月1日	・めぐ子学習発表会 (13:00~15:00) ・村民の舞台 (18:30~20:00)
11月2日	・米まつり (9:30~12:30) ・村民芸能発表会 (13:00~15:00)
11月3日	・大澤潤氏文化講演会 (13:30~15:00) ・お茶席コーナー (10:00~15:00) ・銅板による折り鶴美演コーナー (10:00~16:00)
3日間開催	・村民美術展・趣味の創作展・生け花展 ・物産まつりコーナー・健康まつり ・軽食コーナー・郵便コーナー ・悠遊郷コーナー・森林展

みなさんのご来場をお待ちしています。